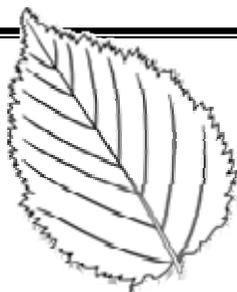




# 森と水の源流館 だより

文月 2008年7月 vol.67

電話)52-0888 fax)52-0388(水曜休館)



<川上村の生き物クイズ>

(ヒントその1)「川上村で花といえばコレ! ですよねぇ」

種類がわかった方は森と水の源流館までお越しください。  
正解者先着5名さまに粗品進呈します。

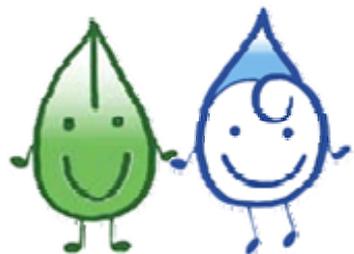
# 夏休みは〜!

森と水の源流館に遊びにきてね!

入館しなくても参加できるイベントも

いろいろあります。(8月7日~31日)

8月13日(水)は開館しています。



## 宿題応援イベントいろいろ!

**721 祝** ① 源流に学ぶ! 森と水の源流館見学と小枝の五作体験 **要事前申込み**  
先着60名様 入館料・工作参加費無料

時間 9:30~森と水の源流館に集合 受付 / 10:00~見学開始 / 11:30解散  
主催 奈良県土木部河川課

**818 月** ② <sup>あひ</sup>藍葉のタタキ染め   
先着20名様(当日先着順受付)

時間 13:00~14:00 所要時間 30分 参加費 一つ300円(+入館料)

**821 木** ③ 小枝の五作体験   
先着各10名様(当日先着順受付)

時間 10:00~12:00 / 14:00~16:00 所要時間 各60分  
参加費 一つ200円(+入館料) (刃物を使用します)

**825 月** ④ アクリル封入標本づくり **要事前申込み**  
ドングリ、マツボックリなどを透明なアクリルの中にかためます!  
小学生以上 先着10名様

時間 10:00~15:00 所要時間 5時間(休憩時間含む)   
参加費 一つ500円(+入館料)

8/7(木)~8/31(月)

### いつでも体験できます!

受付 9:30~16:00 ただし毎週水曜日は休館(8/13は開館)

**5 丸太切り体験**   
汗をかきかき、ズバリの重さで丸太が切れたら、記念品がもらえるよ! **参加費** 1回100円(入館料別)

**6 お絵かきペイント**   
森の小枝や川の小石に自由に絵をかこう!  
**参加費** 1個100円(入館料別)

**7 カエル・イモリのスケッチ**   
めずらしい、きれいな川のそばに暮らす生き物が待ってるよ!  
**参加費** 無料(入館料別) ※画材はご持参ください

**8 学習シート 配布**   
カメラやスケッチブックを忘れずに!  
学習シートを見ながら、館内を巡ろう! お家に帰って写真や絵を貼れば、源流館で調べたこと、発見したことが観察ノートにまとまるよ。  
**参加費** 無料(入館料別) ※ご来館の小学生に限る

自由研究に役立つ本もたくさんあるよ! (貸出は行っていません)

標記イベントはいずれも、

※必ず保護者の方がご同伴ください。 ※①④は事前にお電話にて森と水の源流館へお申込みください。  
※所要時間は目安で、個人差があります。 ※①④以外は、当日、森と水の源流館にて先着受付となります。  
※団体での参加については、お問い合わせください。 ※予告なく変更・中止の場合があります。

 森と水の源流館

9時~17時(受付は16時半まで) / 休館日:水曜(8/13は開館) / 入館料:大人400円、小中学生200円 <http://www.genryuu.or.jp>

〒639-3553 奈良県吉野郡川上村宮の平 TEL 0746-52-0888 FAX 0746-52-0388

## 6/14(土) カエルの観察会

吉野川流域をしらべる「吉野川紀の川しらべ隊」。第2回は青空の下、吉野町でカエルを中心に両生類・は虫類を観察しました。今回の観察会では、シュレーゲルアオガエル、トノサマガエル、ニホンアマガエルなど6種類のカエル、ニホンイモリ、アオダイショウ、シマヘビなどが観察できました。少しはなれただけでも川上村とはちがった生き物が観察されて、吉野川をちがった角度から見ることができました。



↑シマヘビを手に解説を行う講師の井上龍一先生。カバンの中からはカエルのぬいぐるみがたくさん出てきました。わかりやすく面白い解説でした。



## 幸せの黄色いレシートキャンペーン

6月11日、ジャスコ樫原店の「黄色いレシート」キャンペーンに出展しました。これは休グループの取り組みの一つで、レシートの額面の1%相当の物品が寄附されるというもので、源流館では毎年PRを兼ねて出展しています。

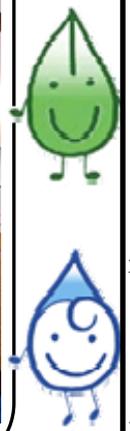
今回も、川上村と源流館の取り組みを多くの来店者に紹介し、ご理解を得られたと思います。

今後も、このような機会を見つけて、積極的にPRを進めていきたいと思っています。



## 6/21(土)源流のほたるの夕べ

今年もホタルの季節にあわせて、東川の中井溪谷自然塾で東川の伝統行事千本づきや、郷土料理、そして自然を楽しみました。当日は東川の皆さんのあたたかいおもてなしに参加者のみなさん一同感動だったようで、終わってからも「ホタルもよかったけれども千本づきや料理が思い出に残った」とうれしい感想がとどきました。「また来ます！」というのが一番うれしいですね。東川のみなさんどうもありがとうございました。



★今月のコケ★ 木村が川上村のコケを紹介します。(連載第27回)

### クラマゴケ～コケじゃないコケ～

前は地衣類を紹介しましたが、今回はシダなのにコケと名前が付いているものを紹介します。クラマゴケは、園芸屋さんでも「クッションモス」などの名で売られており、シダとは知らずに購入する人も多いそうです。私のところにもコケだと思って「栽培方法は？」などの質問がたくさん来ます。

川上村では森のはずれで、やや明るいところに多く生えています。岩の上などでも見ることがあります。ややこしいことに、本当のコケ植物の中にこれに似ているものがあります。そちらには「クラマゴケモドキ」という名前が付いています。本家のほうがモドキでコケじゃないほうがコケという何とも頭がごちゃごちゃになりそうな例の一つです。

